

市川猿之助構成 春秋二番叟

振付 藤間勘吉郎

近松門左衛門 作
石川耕士 補綴

市川猿之助演出 日本振袖始

文楽座大夫・三味線 出演
坂東玉三郎 特別出演

美術監督 朝倉 撰
美術 金井俊一郎
照明 吉井澄雄
振付(前) 藤間勘吉郎
振付(後) 藤間 徹野
作曲 鶴澤清治
作詞 藤舎呂船

特別招待 平成13年5月29日(火) 13時開演
一般公開 平成13年5月30日(水) ①13時開演 ②18時開演
京都芸術劇場「春秋座」京都造形芸術大学(北白川上終町)

京都芸術劇場 「春秋座」柿落し

緑の顔見世

市川猿之助
特別出演
坂東玉三郎

入場料：¥12,600 (消費税込・全席指定)

一般前売開始：平成13年1月27日(土) チケットぴあ

0663639999 0663639966 (コード:403#682)

お問合せ：075-791-9122 (内線)144 京都芸術劇場設立準備室

市川 猿之助

市川 右近

市川 亀治郎

市川 猿 弥

市川 笑 也

市川 段四郎

坂東 玉三郎

主催：京都造形芸術大学

制作：株式会社 おもたか
制作協力：松竹株式会社



京都芸術劇場
春秋座

京都芸術劇場

「春秋座」柿落し

緑の顔見世

◆春秋三番叟

能では「翁」に続いて狂言が演じる「三番叟」が一對となつて、新年や開場記念、祝賀の際の演目になっています。

これらを引き移して歌舞伎でも儀式舞踊として「式三番叟」が、江戸歌舞伎では顔見世興行の初日から三日間と正月元日に「翁渡し」と称して行われて来ました。翁を太夫元(劇場主)、千歳を若太夫、三番叟を座頭役者が勤め、天下泰平、五穀豊穰、芝居繁盛を祈願して踊られました。

その後、こうした儀式曲から様々な三番叟物の変型が作られ、長唄では儀式性の強い「寿式三番叟」を始め、「舌出し三番叟」「雛鶴三番叟」「廓三番叟」、更には三番叟を人形振りにした「操り三番叟」、また清元では「四季三番叟」、常磐津の「子宝三番叟」、義太夫の「二人三番叟」など、たくさん三番叟が作られました。

今回は、京都芸術劇場春秋座の柿落し公演のために市川猿之助が数ある三番叟の中から構成し、「春秋三番叟」として上演いたします。

翁 段四郎
千歳 笑也
面箱 猿弥
三番叟 亀治郎

◆日本振袖始

享保三(一七一八)年二月、大阪竹本座で初演された人形浄瑠璃のための作品で、作者は近松門左衛門。同じ年に京都早雲座(別称・榎山座)で歌舞伎に移されました。

その後、文化六(一八〇九)年六月の江戸市村座で、五世幸四郎や七世團十郎らによって通し上演された以外は、大切景事「大蛇退治」のみの上演が常だったようです。それも昭和十五年に演じられて以来跡絶えていました。人形浄瑠璃では後に増補改作され、その流れを引く「大蛇退治」の件りのみが現在も文楽に伝承されており、舞踏会などでは時折とりあげられています。

その後、昭和四六年に中村歌右衛門丈が、戸部銀作脚色、野澤松之輔作曲により文楽に残る曲とは変えて復活し、また平成十年には坂東玉三郎丈が、文楽の曲を使い(演奏は竹本)、後の部分を豊竹咲大夫、鶴澤清介両氏の作曲で仕立て直して演じるなど、その都度色々な形で上演されています。

猿之助は平成十二年に開かれた自主公演、春秋会公演でこの「大蛇退治」を取り上げ、文楽の伝承曲を活かすよう後半を鶴澤清治師に新作を依頼し、合方は用いず文楽座の演奏で通しました。素戔嗚尊の道行風の振りを充実させて後ジテに繋ぎ、その後ジテも残る七頭の分身を登場はさせますが、飽くまで頭が八つに岐れた(八岐の)大蛇としての形象を試みます。更に真女形の後ジテとは異なり、分身の力を借りずとも充分に發揮できるよう構成されています。

八岐の大蛇 猿之助
素戔嗚尊 右近
稲田姫 玉三郎



玉三郎



段四郎



笑也



猿弥



亀治郎



右近



猿之助



京都芸術劇場
「春秋座」いよいよ開場!

ただ今、左京区北白川の京都造形芸術大学に建築中の京都芸術劇場「春秋座」が2001年5月にオープンします。副学長の市川猿之助が芸術監督を務めるこの劇場は852席の大劇場で、回り舞台、迫り、花道といった舞台機構が完備されている本格的なものです。

アカデミックな研究公演以外に、土日祝は貸館としても利用できます。



◆交通

・JR京都駅/京阪三条駅/阪急河原町駅より、市バス5番岩倉行きで上終町下車

・地下鉄北大路駅より、市バス204循環で上終町下車
・観電茶山駅下車徒歩10分

※終演時に市バス5番(JR京都駅行き/三条・四条経由)を臨時増発

■お願い■
駐車場が使用できませんので、御来場には電車、バス、タクシーなどを御利用下さい。